SCREEN

80th Anniversary

Consolidated Business Results & Forecasts

2024年3月期 第2四半期決算説明会

2023年10月31日

株式会社SCREENホールディングス

内容：

- 上期 連結決算の概要　代表取締役 専務取締役（CFO）　近藤　洋一
- 事業環境および業績予想　代表取締役 取締役社長（CEO）　廣江　敏朗

資料取り扱い上の注意

・本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。

・本資料では、例えば、「FY2024/03」と示す場合、2023年4月1日～2024年3月31日の会計期間を表します。

SCREEN

80th Anniversary

上期 連結決算の概要

2023年10月31日

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 専務取締役 最高財務責任者（CFO）
近藤　洋一

上期 連結決算の概要

上期決算実績

全社>>

- **前回（7月）予想を上振れ着地**

- **前年同期比、売上、営業利益、経常利益増**
  ➡微増ながらいずれも上期過去最高を更新

SPE>>

- **前年同期比、売上、営業利益増**
  ➡いずれも上期過去最高を更新

- **中国比率上昇、1Qでのスライド分をカバー**

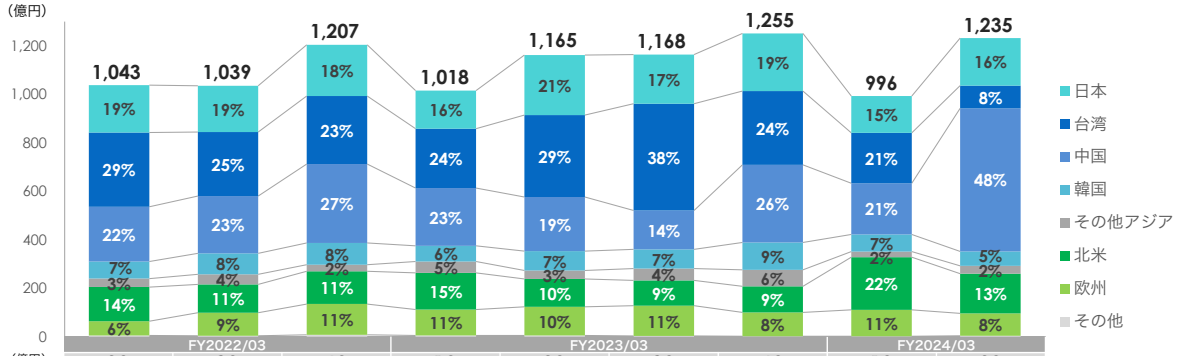
FY2024/03 上期 連結業績 前年同期比

（億円）

	FY2023/03						FY2024/03				
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上期	前年同期比	
売上高	1,018	1,165	2,184	1,168	1,255	4,608	996	**1,235**	**2,232**	**48**	**2.2%**
営業利益 営業利益率	178 17.5%	203 17.4%	381 17.5%	184 15.8%	197 15.8%	764 16.6%	134 13.5%	**251** **20.3%**	**385** **17.3%**	**3**	**1.0%** **-0.2pt**
経常利益	182	204	386	185	201	773	136	**256**	**393**	**6**	**1.8%**
親会社株主に帰属する 当期純利益	160	135	296	121	156	574	94	**169**	**263**	**-33**	**-11.3%**

全社地域別売上高比率

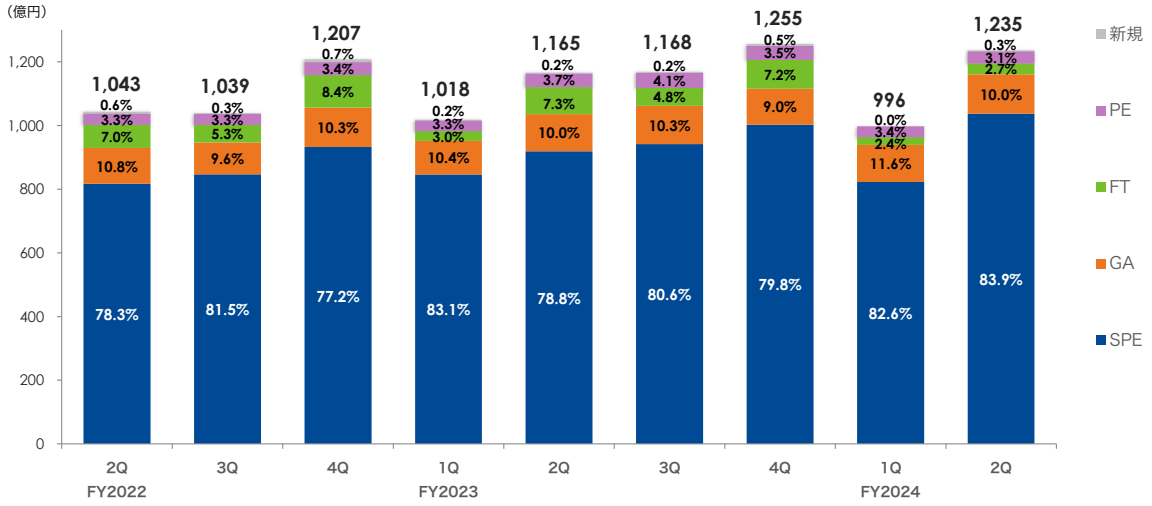
四半期



（億円）	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
日本	196	191	211	157	248	203	238	152	**196**
台湾	306	264	281	245	338	440	304	208	**94**
中国	226	236	325	238	223	161	320	211	**590**
韓国	70	87	90	65	80	79	113	71	**60**
その他アジア	35	41	27	47	35	49	68	23	**32**
北米	141	117	135	151	115	104	108	217	**164**
欧州	59	95	127	107	118	125	98	109	**92**
その他	5	4	8	5	5	3	2	2	**4**

セグメント別売上高比率

四半期



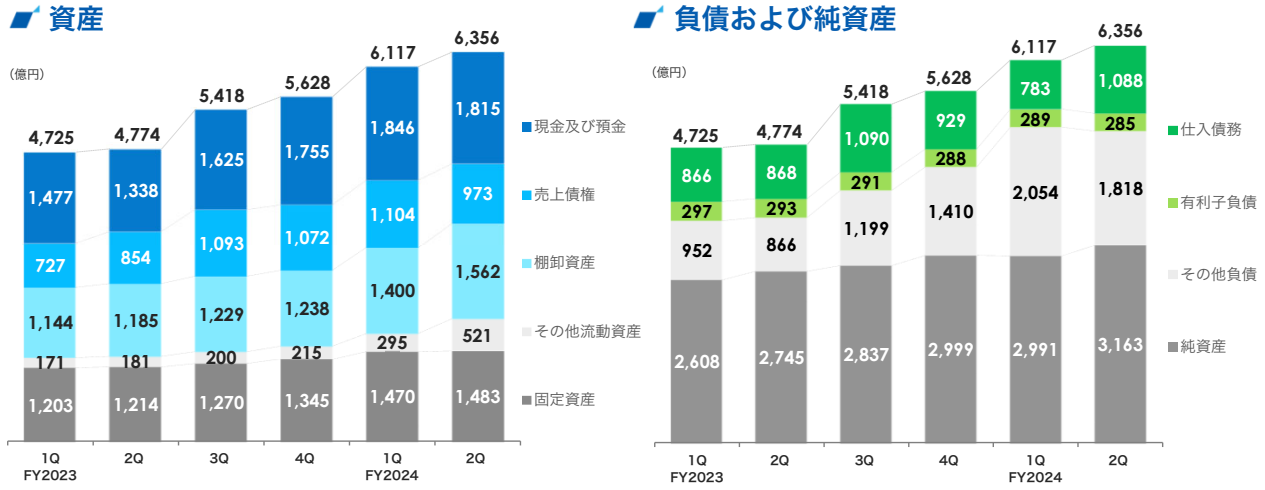
FY2024/03 上期 連結業績・四半期推移 セグメント別

	(億円)	FY2022/03			FY2023/03				FY2024/03	
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
SPE	売上	816	846	932	846	919	941	1,002	823	**1,037**
	営業利益	154	171	214	188	195	173	211	137	**251**
	営業利益率	18.9%	20.2%	23.0%	22.3%	21.3%	18.5%	21.1%	16.8%	**24.2%**
GA	売上	112	99	123	105	116	120	113	115	**123**
	営業利益	4	4	5	6	9	10	6	9	**12**
	営業利益率	3.6%	4.3%	4.3%	6.4%	8.2%	9.0%	6.1%	8.0%	**10.2%**
FT	売上	72	55	101	30	84	56	90	23	**33**
	営業利益	-0	-3	7	-8	-2	-0	-7	-4	**-1**
	営業利益率	-0.9%	-5.5%	7.2%	-27.0%	-3.1%	-0.8%	-7.8%	-20.1%	**-4.9%**
PE	売上	34	33	40	33	42	47	44	34	**38**
	営業利益	7	6	5	4	11	10	7	3	**6**
	営業利益率	21.0%	17.8%	12.9%	14.0%	26.2%	21.1%	17.2%	10.9%	**17.6%**

FY2024/03 上期 連結業績 セグメント別

	(億円)	FY2024 1Q	FY2024 2Q	QoQ 売上増減		QoQ 営業利益増減		FY2023 上期	FY2024 上期	YoY 売上増減		YoY 営業利益増減	
SPE	売上	823	**1,037**	213	26.0%	113	82.1% 7.5pt	1,765	**1,860**	95	5.4%	5	1.4% -0.8pt
	営業利益 営業利益率	137 16.8%	**251** **24.2%**	増収増益。中国比率が上昇				383 21.7%	**389** **20.9%**	メモリー向けの売上は減少も、ファウンドリー向けが増加し、増収増益。台湾向けの売上は減少、中国や北米向けは増加			
GA	売上	115	**123**	7	6.6%	3	35.2% 2.2pt	222	**239**	17	7.7%	5	34.8% 1.8pt
	営業利益 営業利益率	9 8.0%	**12** **10.2%**	増収増益。POD、インクの売上は引き続き安定				16 7.3%	**21** **9.1%**	装置売上、リカーリングビジネスの売上増。増収増益			
FT	売上	23	**33**	10	41.9%	3	- % 15.2pt	115	**57**	-57	-49.9%	4	- % -1.8pt
	営業利益 営業利益率	-4 -20.1%	**-1** **-4.9%**	増収増益。売上増により赤字幅は減少				-10 -9.4%	**-6** **-11.2%**	顧客の設備投資低迷を受け、売上減。赤字幅は減少			
PE	売上	34	**38**	4	12.8%	3	81.2% 6.6pt	76	**72**	-3	-4.8%	-5	-34.0% -6.4pt
	営業利益 営業利益率	3 10.9%	**6** **17.6%**	増収増益。売上増により営業利益率増				15 20.8%	**10** **14.4%**	減収、売上の減少や固定費の増加などにより減益			

財務状況：連結貸借対照表



● 前受金受領に伴う現金及び預金の高止まりもあり、自己資本比率は**49.8**%。純資産は3,163億円に

SCREEN FY2024/03Q2_20231031 Innovation for a Sustainable World 9

●総資産

・棚卸資産や有価証券（譲渡性預金）が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ727億円（12.9%）増加し、6,356億円となりました

●負債および純資産

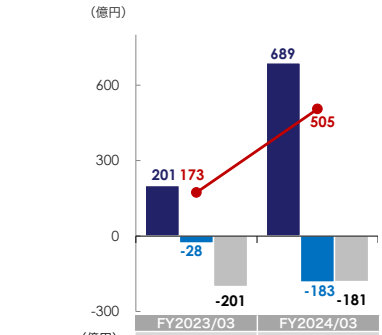
・負債は契約負債や仕入債務が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ563億円（21.4%）増加し、3,192億円となりました

・純資産は配当金の支払いの一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ、164億円（5.5%）増加し、3,163億円となりました

●以上の結果、自己資本比率は49.８％でした

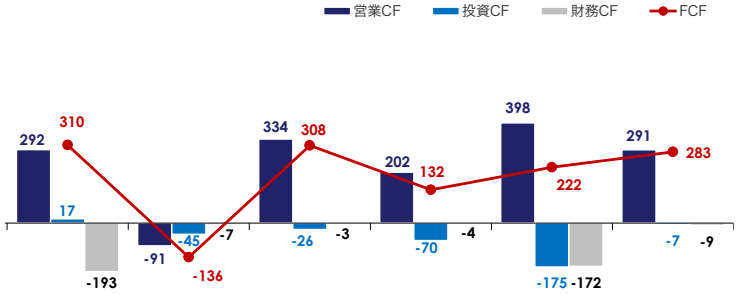
財務状況：連結キャッシュ・フロー

半期



(億円)	FY2023/03 上期	FY2024/03 上期
営業CF	201	**689**
投資CF	-28	**-183**
FCF	173	**505**
財務CF	-201	**-181**

四半期



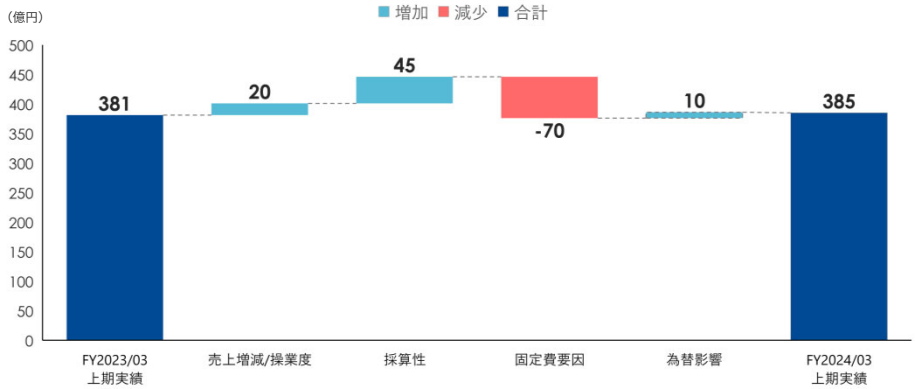
	FY2023/03				FY2024/03	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業CF	292	-91	334	202	398	**291**
投資CF	17	-45	-26	-70	-175	**-7**
FCF	310	-136	308	132	222	**283**
財務CF	-193	-7	-3	-4	-172	**-9**

※ FCF：フリーキャッシュ・フロー

- 営業CFは、前受金受領もあり、堅調に推移
- 投資CFは、主に新工場建設等の生産能力増強に向けた支払い
- 財務CFは、主に配当金の支払い

営業利益増減分析

FY2023/03 上期実績 vs FY2024/03 上期実績



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

>>売上増減/操業度の要因は、ほとんどがSPE
>>採算性の改善は、ほとんどがSPE
>>固定費の増加要因は、主にSPEの成長投資（人件費、減価償却費、研究開発費など）
>>為替影響は、主にGA、PE

SCREEN

80th Anniversary

事業環境および業績予想

2023年10月31日

株式会社SCREENホールディングス
代表取締役 取締役社長 最高経営責任者（CEO）
廣江　敏朗

事業環境および業績予想

事業環境

- **SPE：**中国での成熟ノード向け投資がWFEを下支え。大手ファウンドリーの投資縮小はあるものの、DXの進展やGXを背景にした、微細化やパワー半導体への投資は底堅く推移すると予想。メモリー投資の回復はCY2024後半からCY2025を見込む。半導体市況はPC、スマホ向け在庫調整も進み、CY2023 2Qがボトムとの見方
- **GA：**米国の景気動向を注視
- **FT、PE：**市場回復を待ちながら、次期成長に向け開発投資を強化

業績予想

- **FY2024・通期予想を上方修正** (前期比増収増益)
  ➡3期連続で過去最高を更新予定
- **FY2024・中間配当(初)は167円、通期では前期比増配、過去最高** (株式分割前換算で381円を予想)
- **中期経営計画最終年度、数字目標は達成が視野に。持続的成長に向けた投資継続**

SPE事業概況

市場動向および見通し

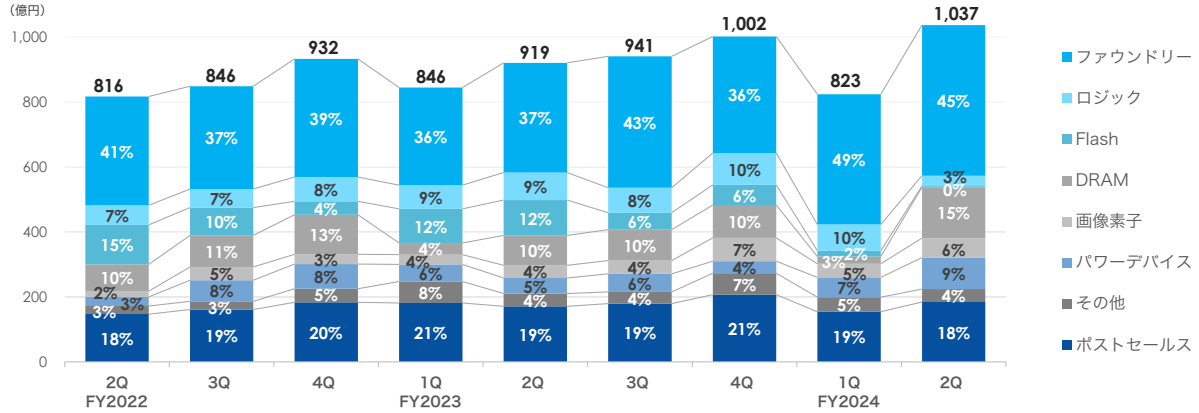
- **WFE：CY2023は前年比、15%強の減少を見込む**
  - ・ファウンドリー・ロジック：長期市場拡大を見据えた投資は継続
  - ・メモリー：大幅な投資回復はまだ見込めず
  - ・中国での投資がWFEを下支え
- **アプリケーション別投資動向**

ファウンドリー	世界各地での活発な量産投資と並行し、最先端向け投資計画も
ロジック	設備投資には慎重姿勢
メモリー	回復はCY2024後半からの見通し。DRAMはAI関連で若干ポジティブ要素も
画像素子	スマホ向け不調なるも、タブレット・車載向けは堅調
パワーデバイス	SiC向け活況。車載用、サーバー向け投資など底堅く推移
その他	アナログ、センサー、光学、素材など堅調な投資が継続

- **中国市場：ファウンドリー、メモリー、画像素子などの成熟ノード向け投資が、既存だけでなく新興企業でも活発**

SPE 連結・新規装置アプリケーション別、およびポストセールス売上推移

四半期



ポストセールス売上高（億円）	2Q FY2022	3Q	4Q	1Q FY2023	2Q	3Q	4Q	1Q FY2024	2Q
	147	161	183	181	171	179	207	154	**184**

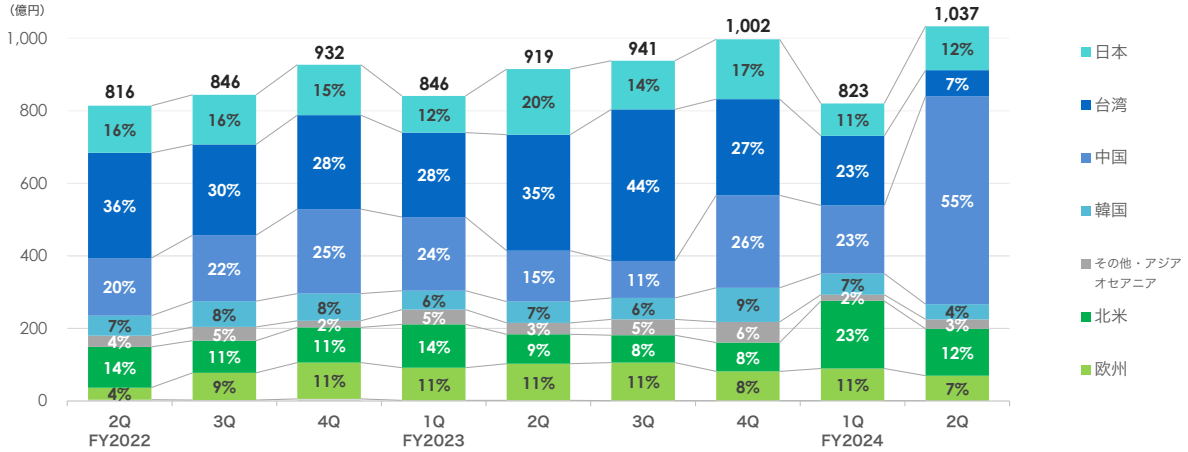
注）ポストセールス売上高は、過去の発表数字に集計上の訂正を入れています

- アプリケーション別（QoQ）：DRAM大幅増、中国向けが牽引。パワーデバイス増は欧州、中国が牽引
  （YoY）：ファウンドリー増は中国が牽引
- ポストセールス（QoQ）：売上30億円増。20%程度の比率維持

SPE 連結地域別売上高比率 - 仕向地ベース

SPE

四半期

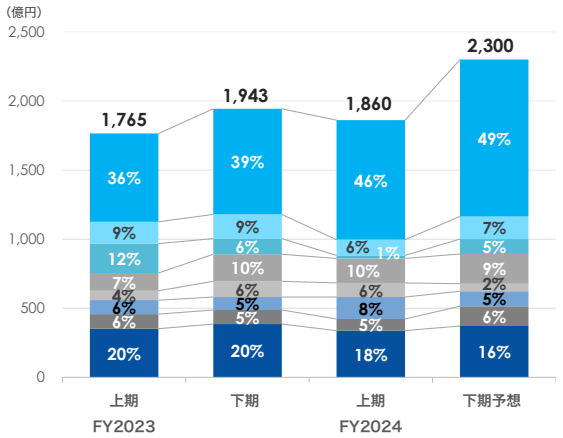


● 2Q（QoQ）（YoY）：中国での活発な投資を受け中国向け大幅増

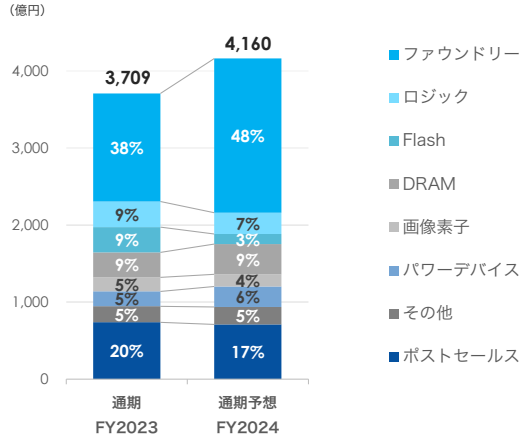
SPE 売上高比率予想（連結）

アプリケーション（デバイス）別

■半期



■通期

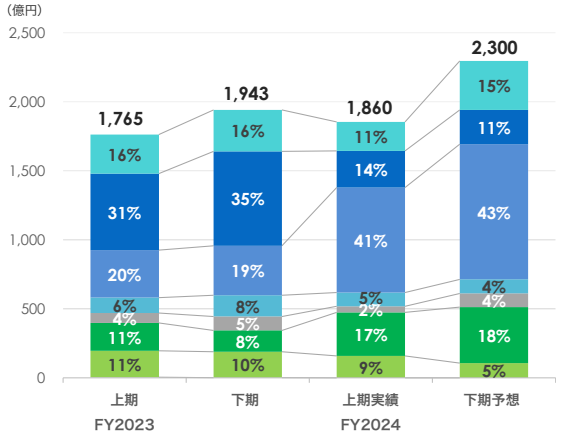


- 上期実績vs下期予想：ファウンドリーがさらに増加。Flashも比率小ながら増
- 下期予想（YoY）：ファウンドリーで大きく増加見込み
- 通期予想（YoY）：ファウンドリー大幅増、パワーデバイス、DRAMは堅調

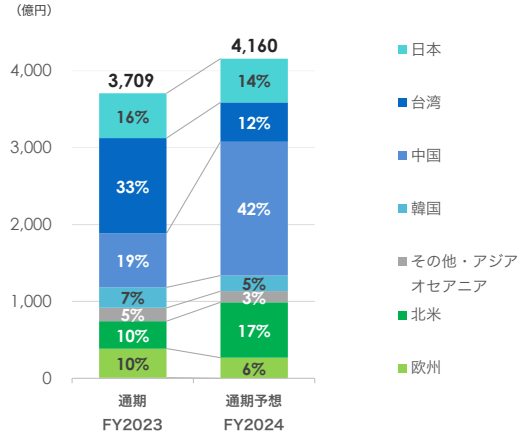
SPE 売上高比率予想（連結）

地域別 - 仕向地ベース

■半期



■通期

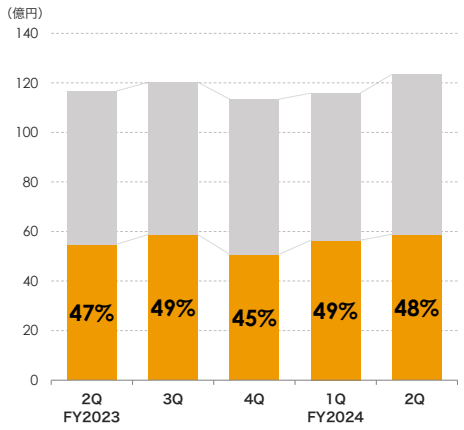


- 上期実績vs下期予想：中国比率は下期さらに伸長。日本、北米でも増
- 下期予想（YoY）：中国比率が2倍以上成長。北米比率も大幅増
- 通期予想（YoY）：通期としても中国比率が2倍以上成長。北米比率も増

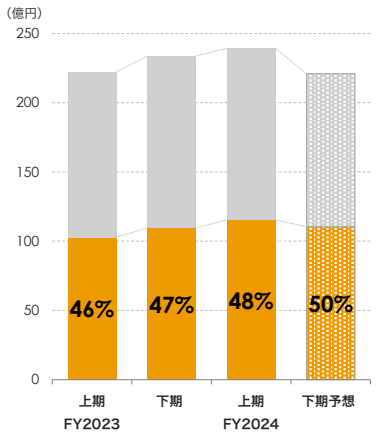
GA 連結売上高推移

GA

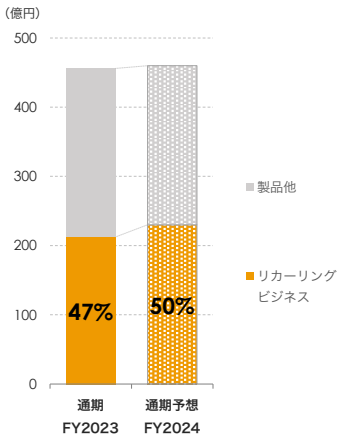
四半期



半期



通期



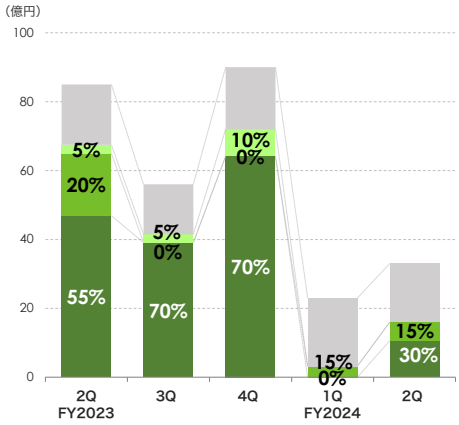
＊注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記

- インクを中心とするリカーリングビジネス（RB）は安定推移
- 米国の景気動向を注視
- 通期、営業利益率は7%台を維持継続

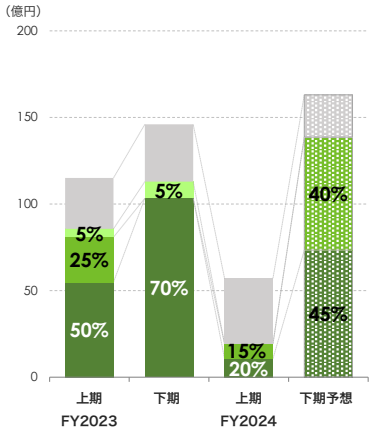
FT 連結売上高推移

FT

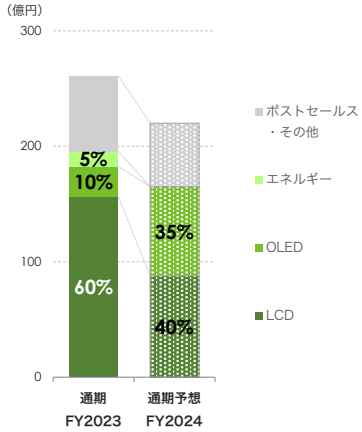
四半期



半期



通期



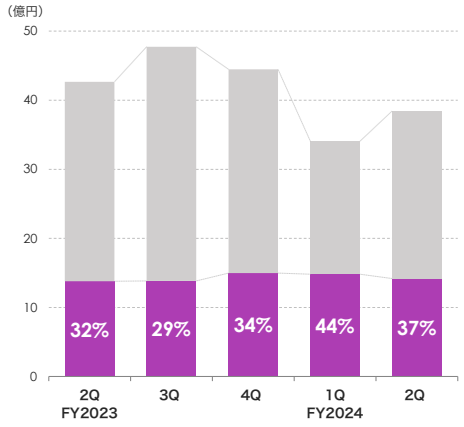
＊注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記。FY2024から、エネルギーはその他に含める

- ディスプレー市場は不透明な環境が続くも、来期に向けて需要は若干回復
- 来期以降のG8.6 OLED向け投資に期待

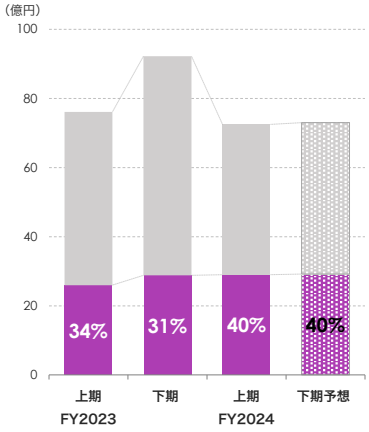
PE 連結売上高推移

PE

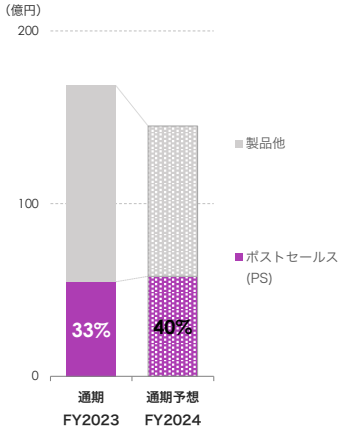
四半期



半期



通期



＊注） 予想比率は、5%刻みの「約」表記

- データセンター向け需要回復は来期以降に期待
- 市場回復後の成長に向け、今期、新製品投入を目指す
- ポストセールスは堅調、安定した営業利益の創出を見込む

FY2024/03 業績予想 (2023年10月31日時点)

(億円)		FY2023/03	FY2024/03					
		通期実績	上期		下期		通期	
			7月発表 予想	10月発表 実績	7月発表 予想	10月発表 予想	7月発表 予想	10月発表 予想
売上高		4,608	2,155	2,232	2,795	2,768	4,950	5,000
営業利益 営業利益率		764 16.6%	325 15.1%	385 17.3%	525 18.8%	490 17.7%	850 17.2%	875 17.5%
経常利益		773	310	393	510	467	820	860
親会社株主に帰属する当期純利益		574	200	263	380	337	580	600
SPE	売上	3,709	1,800	1,860	2,300	2,300	4,100	4,160
	営業利益 営業利益率	769 20.7%	360 20.0%	389 20.9%	540 23.5%	541 23.5%	900 22.0%	930 22.4%
GA	売上	456	225	239	235	221	460	460
	営業利益 営業利益率	33 7.4%	15 6.7%	21 9.1%	20 8.5%	14 6.3%	35 7.6%	35 7.6%
FT	売上	261	50	57	170	163	220	220
	営業利益 営業利益率	-18 -7.0%	−15 −30.0%	−6 −11.2%	0 0%	−9 −5.5%	−15 −6.8%	−15 −6.8%
PE	売上	168	70	72	75	73	145	145
	営業利益 営業利益率	33 19.9%	10 14.3%	10 14.4%	10 13.3%	10 13.7%	20 13.8%	20 13.8%
その他および調整	売上	12	10	2	15	13	25	15
	営業利益	-54	-45	-29	-45	-66	-90	-95

注）FY2024/03（通期）想定為替レート>> 1USD＝￥140 、1EUR＝￥150
想定為替感応度（通期営業利益ベース）>> 対USD：￥1.4億、対EUR：￥0.3億

＊ セグメント別営業利益予想：5億円刻みの「約」表記

SCREEN FY2024/03Q2_20231031

Innovation for a Sustainable World 22

●全社（FY2024/03通期予想）：

・売上高（5,000億円）、営業利益（875億円）、経常利益（860億円）、親会社株主に帰属する当期純利益（600億円）は、いずれも過去最高となる見込みです

●SPE：

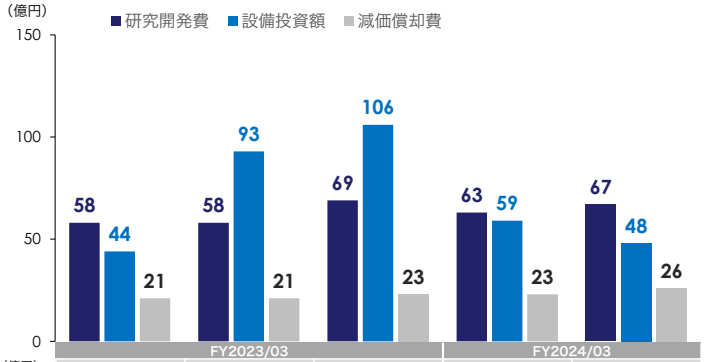
・中国市場における投資は依然活発であり、WFE市場を下支えします

・先端・成熟ノードファウンドリーや、パワーデバイスへの投資は底堅く推移する見込みです

・メモリーの投資回復は2024年後半以降を想定しています

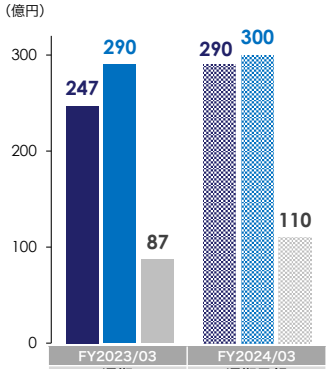
研究開発費・設備投資額・減価償却費

四半期



（億円）	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
研究開発費	58	58	69	63	**67**
設備投資額	44	93	106	59	**48**
減価償却費	21	21	23	23	**26**

通期

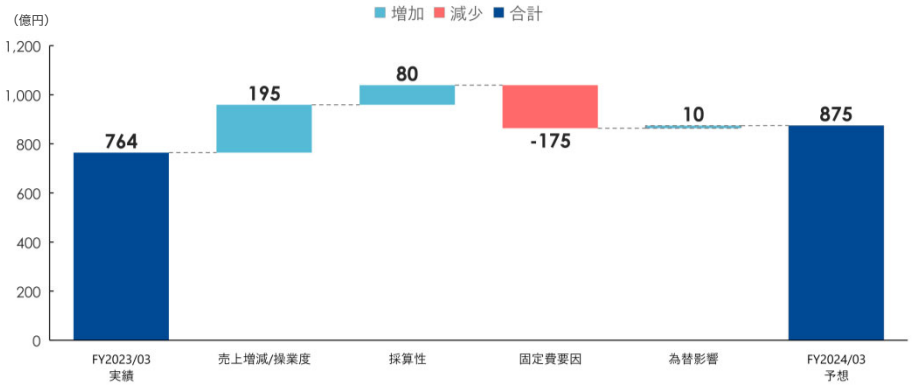


FY2023/03 通期	FY2024/03 通期予想
247	**290**
290	**300**
87	**110**

- 研究開発費：SPE中心に、新規事業領域（ライフサイエンス、AI、アドバンスドパッケージ、エネルギー/水素関連分野）への新製品開発など
- 設備投資額：SPEの新工場S3-5竣工など、彦根の生産・サービス体制強化中心

営業利益増減分析

FY2023/03 実績 vs FY2024/03 予想



※利益要因は、5億円刻みの「約」表記

>>売上増減/操業度は、ほとんどがSPE
>>採算性の改善は、ほとんどがSPE
>>固定費の増加要因は、主にSPEの成長投資（人件費、減価償却費、研究開発費など）
>>為替影響は、主にGA、PE

配当について

2024年3月期

- **通期・過去最高を更新予定**
- **中間配当制度を導入**
  - ・株主様への利益還元機会を充実
  - ・中間配当基準日：毎年9月30日

	2024年3月期				
	7月予想	10月発表	備考	株式分割前換算	
				7月予想	10月発表
1株当たり 中間配当	140円	167円	分割前株式数を基準に配当	140円	167円
1株当たり 期末配当予想	114円	107円	分割後株式数を基準に配当 （1株につき2株の割合で分割）	228円	214円
合計	ー	ー	単純合計できないため非表示	368円	381円

最近のグループニュース（Webサイトより抜粋：2023年7月29日～2023年10月31日）

HD

- プロバスケットボールチーム「京都ハンナリーズ」とトップユニフォームパートナー契約を締結（2023.8.30）
- 総務省外部委託研究「衛星光通信用次世代補償光学デバイスの研究開発」への採択に関するお知らせ（2023.8.31）
- 彦根事業所において成長投資を実施（2023.9.14）
- IRデイ（機関投資家・証券アナリスト向け）開催（2023.9.25）

SPE

- 高岡事業所開設のお知らせ ～枚葉式洗浄装置のキャビネット専用工場として増産に対応～（2023.8.22）
- 水管理の見える化によりサステナビリティ開発を加速 ～彦根・プロセステクノロジーセンターに「水管理アプリケーション」を導入～（2023.10.5）

GA

- 軟包装向け高速水性インクジェット印刷機の販売を開始（2023.10.2）
- 千代田グラビヤとSCREEN、軟包材印刷のデジタル化推進に向けた協業に合意（2023.10.2）
- 「SAGA2024」大会協力企業に関する契約を締結し、「ヒラギノフォント」を提供（2023.10.25）

PE

- 高精度基板向け直接描画装置「Ledia8F」を発売 （2023.10.25）

ESG関連の取り組み

E（環境）

- 彦根・プロセステクノロジーセンターに「水管理アプリケーション」を導入
  - 水管理の見える化によりサステナビリティ開発を加速

S（社会）

- 企業理念浸透施策
  - 経営陣と社員の対話（タウンホールミーティング）実施（海外子会社含む15社以上、下期も継続中）
- 健康経営の基盤強化
  - 健康づくりe-ラーニング（女性の健康／腰痛ほか、国内グループ従業員対象）
  - いきいき健康づくりキャンペーンの開催（11月予定、国内グループ従業員対象）

G（ガバナンス）

- ESGをベースとしたSR（エンゲージメント）活動を実施中
  - 面談の対話ツールには、アニュアルレポート2023年度版（9月発行）を使用
  - SR/ESG面談を重視。継続的に国内外の議決権行使・ESG担当者との対話を実施
- ESG系インデックス銘柄に選定（継続）
  - 当社は、FTSE4Good Index Series（2004年～）、FTSE Blossom Japan Index（2017年～）、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index（2022年～）、SOMPOサステナビリティ・インデックス（2018年～）の構成銘柄

Topics>>

アニュアルレポート2023 発行 <2023年9月>

アニュアルレポートのダウンロードはこちら

◆テーマ　「私たちは世界を変える力を持っている」

◆構成　価値創造プロセスやマテリアリティとの整合性・ストーリー性を重視

>> 再定義した企業理念、改訂した経営大綱の骨子を明示。
4つのマテリアリティの観点で詳解

◆2023年度版のポイント

- 再定義した企業理念（存在意義）、経営大綱の骨子を明示
  →10年後のありたい姿を実現するうえで取り組むべき「マテリアリティ」とアウトカム指標
  →財務指標「売上高1兆円以上、営業利益率20%以上」を初めて開示
- 価値創造プロセスの見直し
  →ポートフォリオマネジメント（知財戦略、マーケティング戦略含む）、イノベーションマネジメント／新規事業に関する情報を充実
- 各事業会社社長メッセージ（CSV／中期経営計画）やSWOT分析、SPE開発部門インタビューを掲載
- 非財務情報の開示充実（人財戦略、サプライチェーンへの責任ほか）

彦根事業所において、成長投資を実施 <2023年9月14日>

SPEの事務所機能、水素関連事業の実験、生産スペースを備えた新棟の建設を決定

- 3階建て。2階部でSPEのS^3-2工場と連結
  - 1F：実験室、作業場など
  - 2F：水素関連事業のクリーンルームなど
  - 3F：SPEおよび水素関連の事務所スペースなど
- SBT※の達成に向け、省エネルギー対応の空調設備の導入など、生産設備の環境負荷低減を推進

※ SBT（Science Based Targets イニシアチブ）

詳細はこちら （公式WEBページへ）

>> 10年後のありたい姿を支える水素関連事業の生産・実験スペースを確保
>> SPEで逼迫している事務所スペース、さらなる事業拡大のためのファシリティとしても利用予定

Topics>>

HD

総務省外部委託研究「衛星光通信用次世代補償光学デバイスの研究開発」に採択
＜2023年8月31日＞

総務省公募：情報通信技術の研究開発に係る提案の公募（ICT重点技術の研究開発プロジェクト）

・応募テーマ「衛星光通信用次世代補償光学デバイスの研究開発」

・大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台、
国立研究開発法人情報通信研究機構、
株式会社SCREENホールディングス、の3者共同で応募・採択

●当社は、衛星光通信の速度向上の障害となる大気ゆらぎを補正する、
補償光学デバイス技術の開発を実施予定

詳細はこちら （公式WEBページへ）

>>当社の直接描画装置などで培った光学技術を活用。宇宙光通信分野でのビジネス展開を図るとともに、
同分野のさらなる発展に貢献

Topics>>

GA

軟包装向け高速水性インクジェット印刷機の販売を開始 <2023年10月2日>

株式会社SCREENグラフィックソリューションズは、軟包装向け高速水性インクジェット印刷機「Truepress PAC 830F」の販売を開始

- ドロップオンデマンドインクジェットにより、業界最高レベルの75m/分の印刷スピードと1,200dpi×1,200dpiの印刷解像度を実現
- インクの密着性を高めるプライマーコーターと、食品安全規制に準拠したCMYK+Whiteの5色の水性インクを搭載。食品業界に求められる高い安全性と豊かな色彩表現を両立する
- 軟包材パッケージにおいても小～中ロット生産により、環境負荷低減と効率的な印刷を実現
- 最大基材幅830mmに対応

Truepress PAC 830F

詳細はこちら（公式WEBページへ）

>>パッケージ印刷分野においてもマーケットニーズをいち早く捉え、製品への機能の搭載、ソリューションの提供を通じて、同分野の発展に貢献

Topics>>

GA

千代田グラビヤとSCREEN、軟包材印刷のデジタル化推進に向けた協業に合意

＜2023年10月2日＞

株式会社千代田グラビヤ（以下、千代田グラビヤ）と株式会社SCREENグラフィックソリューションズ（以下、SCREEN GA）は、「Truepress PAC 830F」を活用した、軟包材印刷のデジタル化推進に向けた協業に合意

- SCREEN GAが「小ロット～中ロット印刷」を本格的に量産できる水性デジタルインクジェット印刷機として開発した「Truepress PAC 830F」を千代田グラビヤに導入
- 両社は協業による軟包装印刷のデジタル化推進に合意。生産機としての対象アプリケーション拡大、デジタルワークフローの構築、小ロット～中ロット生産プロセスでの諸課題の抽出と解決に取り組む

千代田グラビヤとSCREEN、協業に合意

（左から）
千代田グラビヤ　代表取締役社長　佐藤 裕芳
SCREEN GA　代表取締役 社長執行役員　田中 志佳

Truepress PAC 830F

詳細はこちら（公式WEBページへ）

>>協業体制による実際の生産運用を通し、小ロット～中ロットに向けたソリューションにとどまらず、軟包装市場DX化に貢献する最適な生産フローの構築を目指す

高精度基板向け直接描画装置「Ledia8F」を発売 <2023年10月25日>

株式会社SCREEN PE ソリューションズは、ブロード波長型直接描画装置「Lediaシリーズ」の最新機種となる、高精度モデル「Ledia 8F」を開発

- 業界で高評価の描画品質や安定性、独自の波長混合技術を継承。装置構造を全面的に見直し、これまで以上に高い合わせ精度での描画を実現
- 今回新たに「コンスタントキャリブレーション」を採用。露光処理中にバッググラウンドで次の処理基板の位置合わせ・補正処理を行い、装置パフォーマンスを最大限に発揮する
- 2023年11月から販売を開始

Ledia 8F

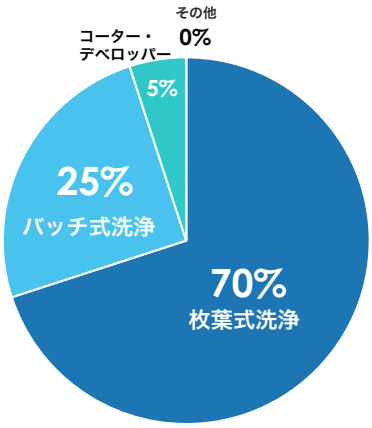
詳細はこちら （公式WEBページへ）

>>通信関連やIoTインフラを中心に拡大が続くプリント基板市場でのビジネス展開を加速
>>今後も電子機器業界のニーズに応え、同業界の発展に貢献

Appendix>> 単独・売上高比率

SPE

製品別売上高比率 - FY2024/03 上期



(%)	FY2022/03 通期	FY2023/03 通期	FY2024/03 1Q	FY2024/03 2Q	FY2024/03 上期
枚葉式洗浄	70	65	70	**70**	**70**
枚葉式洗浄のうち、SU-3200の割合	60	60	75	**85**	**80**
バッチ式洗浄	25	25	25	**25**	**25**
コーター・デベロッパー	5	5	5	**5**	**5**
その他	0	5	0	**0**	**0**

※上記比率は、5%刻みの「約」表記

Appendix>> 主要数値の変遷

（億円）	FY2019/03	FY2020/03	FY2021/03	FY2022/03	FY2023/03	FY2024/03 予想
売上高	3,642	3,232	3,203	4,118	4,608	**5,000**
営業利益	296	125	244	612	764	**875**
営業利益率（%）	8.1	3.9	7.6	14.9	16.6	**17.5**
総資産	3,809	3,479	3,826	4,593	5,628	**-**
自己資本	1,791	1,739	2,083	2,477	2,998	**-**
自己資本比率（%）	47.0	50.0	54.5	53.9	53.3	**-**
ROE（%）	10.3	2.8	7.9	19.9	21.0	**-**
減価償却費	68	88	96	95	87	**110**
設備投資額	240	79	78	134	290	**300**
研究開発費	228	215	215	240	247	**290**
EPS（円）	387.10	107.37	325.21	976.55	1,216.33	**632.65**※1
配当金（円）	97	30	90	293	365	**-** ※2

※1 FY2024/03の予想EPSは、株式分割の影響を考慮しています
※2 FY2024/03の予想配当金は、株式分割の実施により単純合計できないため非表示

Innovation for a Sustainable World